

# 平成30年度第2回 京都府公民連携プラットフォーム

## 「与謝野町阿蘇ベイエリア活性化について」

1 与謝野町の状況

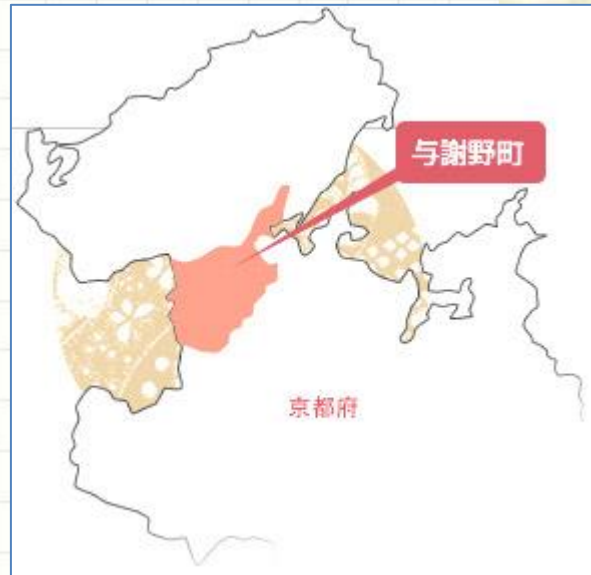
2 阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン

3 基本情報

◆ 報告：与謝野町企画財政課 渡邊稔之

# 1 与謝野町の状況

## 位置



与謝野町

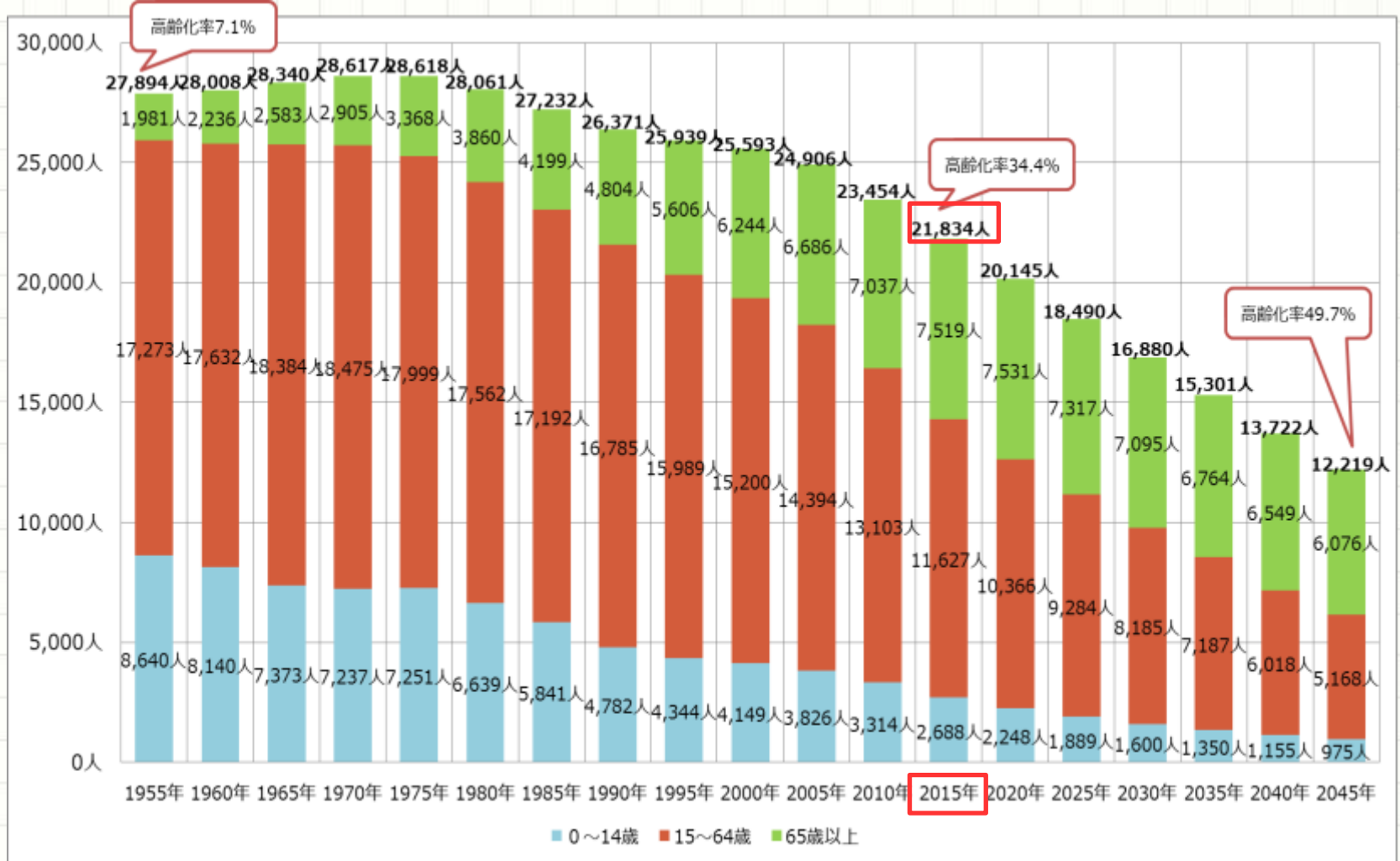
平成18年3月に合併



宮津市、京丹後市、福知山市、兵庫県豊岡市と接している

# 人口

## 2015年国勢調査人口：21,834人



2015年までの人口は国勢調査、2020年以降の推計は国立社会保障・人口問題研究所の推計です。

# 財政状況

一般会計予算（平成30年度肉付け後）：113.4億円

財政力指数（平成29年度）：0.295 ※1.00で交付税不交付

経常収支比率（平成28年度）：92.1

実質公債費比率（平成28年度）：14.0 ※府内ワースト3

将来負担比率（平成28年度）：93.6 ※府内ワースト7

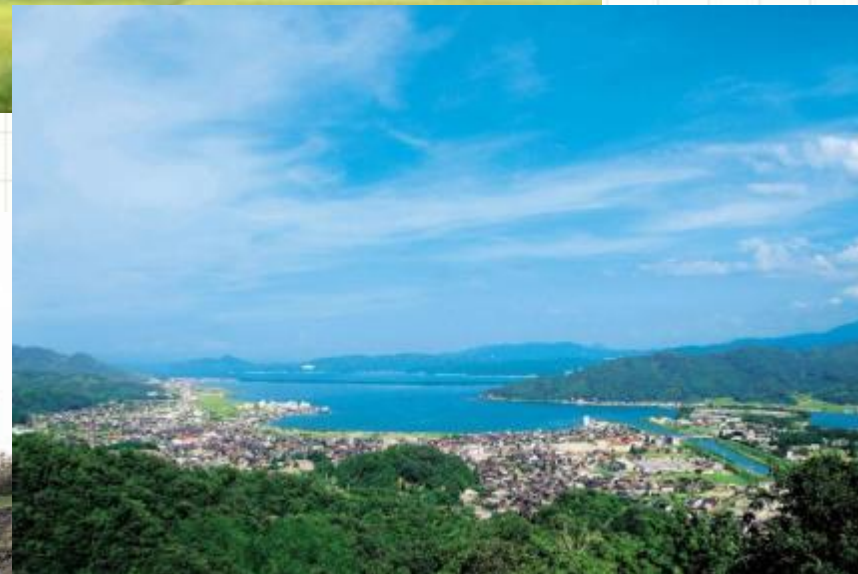
合併後の地方交付税（普通交付税）の優遇期間も終わり（現在は縮減期間）、財政が厳しい局面にある。

# 自然

## 大江山連峰



## 野田川



阿蘇海

# 主な産業

- ・丹後ちりめん（繊維）
- ・農業



# 産品



食品



地酒



シルク製品



工芸品

2

## 阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン

### 「与謝野ブランド戦略事業」

⇒産業振興をまちづくりの中核に据えた地域ブランド戦略

ブランドコンセプトは「みえるまち」

「安心安全がみえる」

「個性がみえる」

「もてなしがみえる」

「与謝野ブランド戦略の3本柱」

① ものづくり産業の強化

② エリア構築 ⇒阿蘇ベイエリアを「みえるまち」の拠点に

③ プロモーションの強化

重点ポイント

(1) 地域産業のイノベーションと起業・創業へのチャレンジを喚起するリノベーション空間の創出

(2) Fun (楽しさ・共感) とFan (ファン) を生む空間の創出

(3) エリアの未来を感じさせる「場」づくりと住民の機運醸成

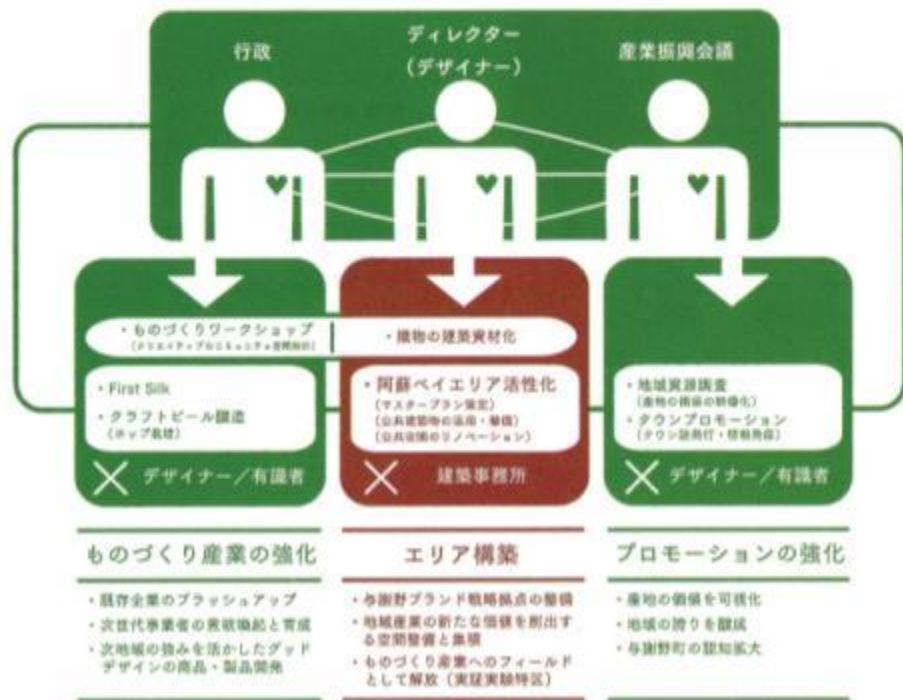
平成27年度に住民、建築家・デザイナー、行政で議論し作成



# 与謝野ブランド戦略

## 与謝野ブランド戦略マネジメント

- ・地域ブランド戦略コンセプト・将来ビジョンの立案と展開方法の確立
- ・デザインマネジメントによる一貫性のある施策・プロジェクト展開
- ・地域課題を経済活動として解決



## 阿蘇バイエリア活性化マスタープラン

指研吾建築都市設計事務所 × Open A (公共不動産)

地域産業のイノベーションと起業・創業へのチャレンジを喚起するリノベーション空間の創出  
Fun(楽しさ・共感)とFan(ファン)を生む空間の創出  
エリアの未来を感じさせる「場」づくりと住民の機運醸成

### ワークショップ

与謝野ラウンドテーブル  
報告会  
パブリックコメント  
etc.

反映

### プラン策定

現況調査  
課題の分析と抽出  
コンセプト立案  
マスタープラン作成  
etc.

反映

議論する

整合する

### 住民意見

- ・与謝野町の魅力をもっと伝えたい。
- ・町にこんな機能が足りない。
- ・将来、町で就業したい。etc.

### 上位計画

- ・第1次与謝野町総合計画後期基本計画
- ・宮津都市計画区域マスタープラン
- ・天橋立周辺地域戦略まちづくり計画 etc.



## 阿蘇バイエリア活性化マスタープラン・メインコンセプト

### 「みえるまち・海の玄関」

新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち



## 阿蘇海を中心とした、与謝野町の新しいストーリー

天橋立に守られた静かなる海 —— 阿蘇海。

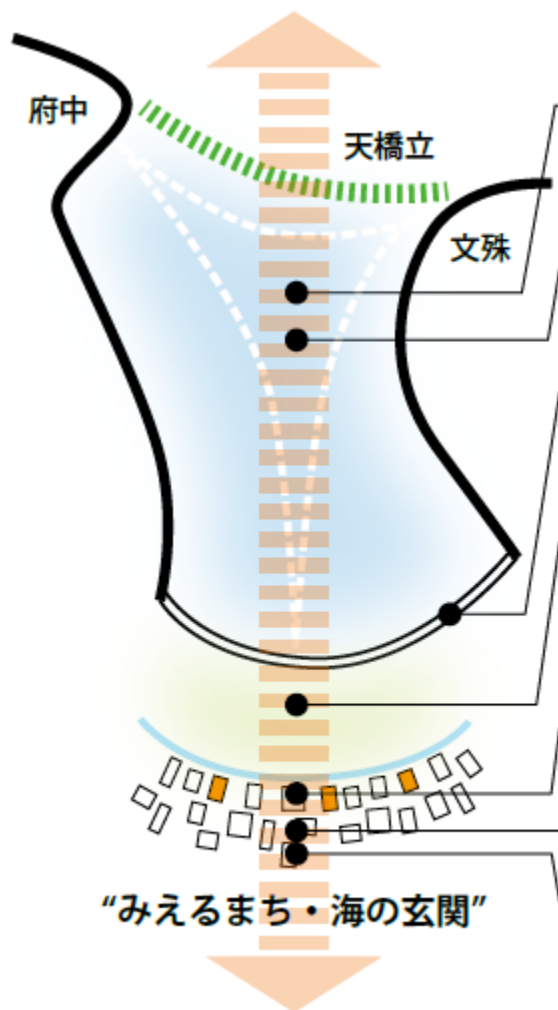
その最奥に位置する“素材づくり”の町 —— 与謝野町。

与謝野町は、丹後ちりめんをはじめとする白生地生産とそれを支える撚糸・製織の技術、日本人の食生活の基本となる米や野菜の生産とそれを支える京の豆っこ肥料づくりなど、加工前の良質な“素材”の生産に長けた町です。そこで本計画では、与謝野町を“素材づくり”の町とし、阿蘇海“最奥”という言葉が表す「遠くにある、どこか神秘的で、かつ本質が隠されている場所」のイメージと合わせて捉え直します。

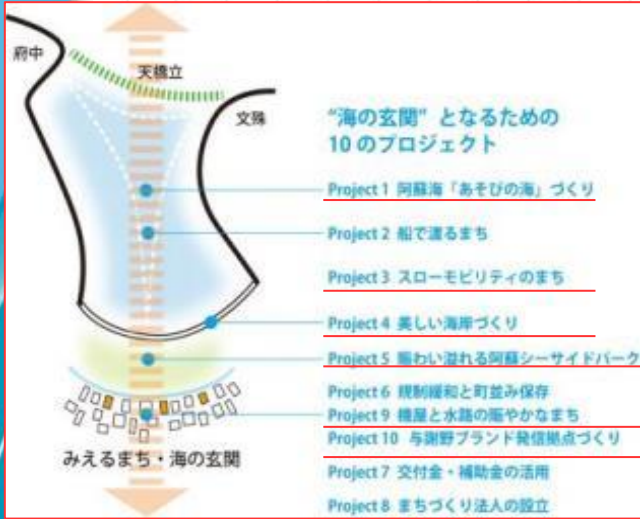


阿蘇ベイエリア  
 = 岩滝地域の都市公園「阿蘇シーサイドパーク」を中心とした  
 周辺地域

## “海の玄関” となるための 10 のプロジェクト



- |   |   |
|---|---|
| <b>Project 1</b><br>阿蘇海「あそびの海」づくり         | [1-A] 阿蘇海環境改善（山・川・水路含む）<br>[1-B] スポーツ・レジャー関連企業やイベントの誘致  |
| <b>Project 2</b><br>船で渡るまち                | [2-A] 岩滝エリアへの新航路の確立<br>[2-B] 栈橋・船の駅設置   |
| <b>Project 3</b><br>スローモビリティのまち           | [3-A] 「まち歩き」促進のための、歩道・舗装・サイン等の設置<br>[3-B] 「自転車交通」促進のための、サイクルステーションの設置<br>[3-C] レンタカー・カーシェアリングサービス等  |
| <b>Project 4</b><br>美しい海岸づくり              | [4-A] 岩滝海岸線バイパスの横断歩道増設<br>[4-B] 岩滝海岸線バイパスの海沿いランドスケープの変更   |
| <b>Project 5</b><br>賑わいあふれる<br>阿蘇シーサイドパーク | [5-A] カフェ・休憩所・レジャー用更衣室・温浴施設・キャンプエリア等の設置<br>[5-B] 水路沿いの柵・遊具・植栽等のランドスケープの部分的変更  |
| <b>Project 6</b><br>規制緩和と町並み保存            | [6-A] 規制緩和による空き家の用途変更・活用促進<br>[6-B] 規制緩和による道路・都市公園の活用促進<br>[6-C] 町並み保存条例の策定（新築・建替え・リノベーション含むルールづくり）<br>[6-D] 空き家改修・町並み保存等に関する助成金制度の創設（起業支援含む） |
| <b>Project 7</b><br>交付金・補助金等の活用           | [7-A] 地方創生交付金等の活用<br>[7-B] 「海の京都」事業に阿蘇ベイエリアを接続し、補助金制度の適用範囲を拡大   |
| <b>Project 8</b><br>まちづくり法人の設立            |   |
| <b>Project 9</b><br>機屋と水路の賑やかなまち          | [9-A] 空き家調査・管理・改修・リース事業、飲食・宿泊施設の運営等<br>[9-B] スタートアップ支援イベントの開催<br>[9-C] 滞在者向けプログラムづくり・移住者向け支援等<br>[9-D] 与謝野町に関する情報収集と発信、編集・出版・デザイン等支援          |
| <b>Project 10</b><br>与謝野ブランド発信拠点づくり       | [10-A] 拠点（ショップ・イベントスペース・ギャラリー等）の開設・運営<br>[10-B] 与謝野ブランドを強化するインキュベーション施設・研究所等の開設・運営  |



# みえるまち・海の玄関

新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち





## みえるまち・海の玄関

新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち

# 優先事項!!

この整備が進めば他のプロジェクトも動き出す！

## プロジェクト5：賑わい溢れる阿蘇シーサイドパーク

阿蘇シーサイドパーク内に公園や阿蘇海での活動を支える中心施設、火気使用が可能なキャンプエリア等を整え、新たな賑わいを創出します。また、水路、柵、遊具、植栽等ランドスケープを部分的に変更し、阿蘇海や市街地と一体感のある公園に進化させます。

■カフェ・休憩所・レジャー用更衣室・温浴施設・キャンプエリア等の設置

カフェ、コミュニティスペース、休憩所、更衣室、シャワー室、備品倉庫、温浴施設等の機能を持つ中心施設を新たに整えます。整備・運営については民間事業の参入を図ります。

■水路沿いの柵・遊具・植栽等のランドスケープの部分的変更

安全性を考慮した上で水路沿いの柵を撤去し、遊具や植栽計画の見直しと合わせて、魅力的な親水空間を整えます。



早期着手したい!!

カフェ・休憩所・更衣室・シャワー施設・  
キャンプエリア等を整えて、賑わい溢れる  
阿蘇シーサイドパークに！ (⇒5-A)

新しいカフェ・休憩所  
コミュニティスペース！

※ 建物デザインはイメージです。

各種レジャーを支える、  
シャワー・更衣室・倉庫

美しい山並み

グランピング

阿蘇海

ウォーキング

屋外をもっと楽しむ！



歩道・自転車道・横断歩道を整えて、新たな住民の憩いの場となる**美しい海岸**に！ (⇒4-A/4-B)

定期船航路・棧橋・船の駅を整えて、**船で渡る海のまち**に！ (⇒2-A/2-B)

阿蘇海 환경을改善しながら、スポーツやレジャーを楽しむ「**あそびの海**」に！ (⇒1-A/1-B)



水路の環境を改善しながら親水空間を整えて、町と一体の賑やかな阿蘇シーサイドパークに！ (⇒5-B)

歩道・舗装・サイクルステーション等を整えて、まち歩きやサイクリングが楽しめるスローモビリティのまちに！ (⇒3-A/3-B)

空き家等を活用し、与謝野ブランドを発信する魅力的なカフェ・ショップ・ホテルが並ぶ賑やかなまちに！ (⇒9-A/10-A等)

※町並みの将来イメージであり、改修する建物を特定するものではありません。



## 実現への課題

- ・プランはあるが、現状の財政状況では整備できない・・・  
(学校統合等、優先すべき事業が多数ある・・・)
- ・行政では賑わいを生むノウハウに乏しい・・・

だから・・・

民間活力を導入した施設整備・運営

でも・・・

この地域で事業展開したい事業者があるだろうか・・・？

### 3 基本情報

#### 施設の概要



「阿蘇シーサイドパーク」は、天橋立を横一文字に見渡せる新たなビューポイントとして整備されました。「人と人との交流、人と自然との共生」をテーマにゾーニング計画を行っています。ここでは、食事や遊び、歴史や地域の文化に親しみ、まちの魅力を五感で楽しめる観光レクリエーション施設です。観光拠点としてだけでなく、地域の人々の憩いの場としても利用されています。

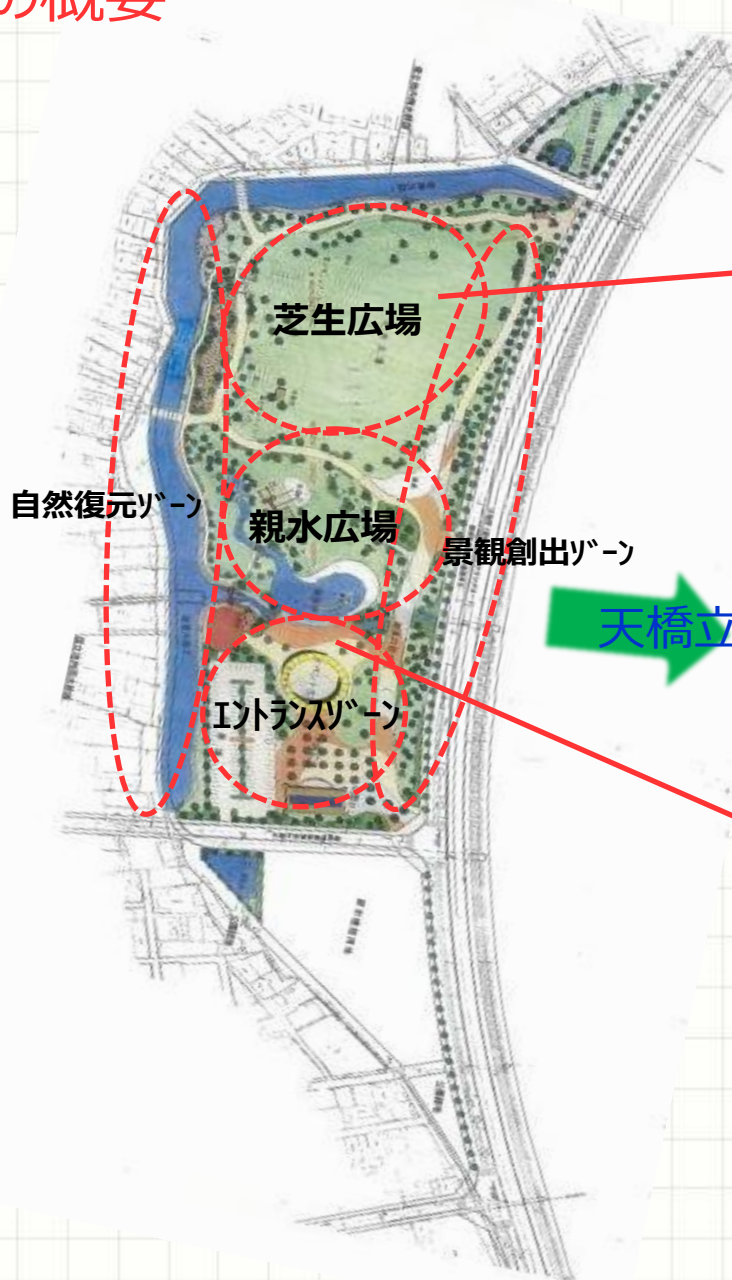
- ・公園面積 約6.2 h a
- ・芝生広場ゾーン、親水広場ゾーン、エントランスゾーン、公園管理センター、駐車場（約150台）、トイレ3箇所

国道178号線の渋滞解消等のために、海側に海岸道路の整備が計画され、大規模な埋め立て工事が行われ、その埋め立て地に整備された公園です。埋め立ての期間も合わせると、昭和63年～平成24年の長期にわたり整備されたことになります。

平成29年度決算における管理費は8,066千円です。施設利用料収入は947千円（グラウンドゴルフ場）です。



# 施設の概要



※写真はイベント時のもので、平時はテントの設置等はできません。



# 施設の規模

**公園全体  
約6.2ha**



## 拠点施設設置について

都市公園法等により建築に制限がある。  
○便益施設（カフェや商業施設）は総面積の2%

1,230.66㎡建築可能  
既に整備済み62.65㎡（トイレ）  
建築可能面積**1,168.02㎡**

また、景観法では  
高さ4階以上、高さ12m以上  
1,000㎡以上の建築には届出が必要となる

参考  
企業立地促進条例による奨励金・助成金・雇用奨励金・利子補助金などの奨励制度有り

# 施設の周辺



★与謝野町産業創出交流センター  
 新たなビジネスの創出や事業者、起業家等の交流を目的に、キッチンスペースやワーキングスペースを備えた施設。公共施設をリノベーションして整備。

★レンタルスペース nest  
 倉庫をリノベーションしたレンタルスペース

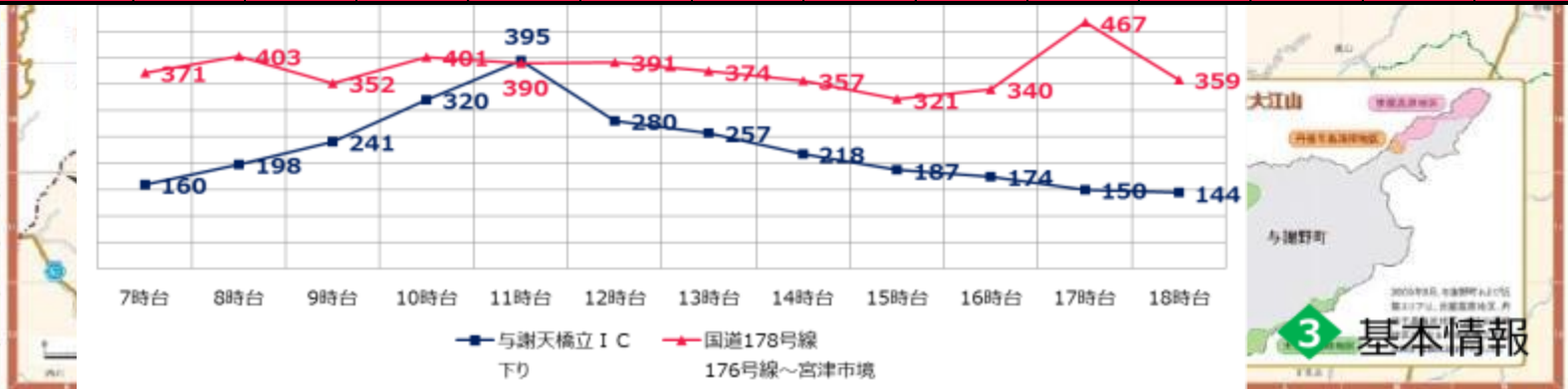


与謝天橋立 I C

# 交通状況



平成27年交通量センサス													
与謝天橋立 I C 下り	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	合計
小型車	110	146	205	275	363	259	235	185	168	154	123	137	2,360
大型車	50	52	36	45	32	21	22	33	19	20	27	7	364
合計	160	198	241	320	395	280	257	218	187	174	150	144	2,724
国道178号線 176号線～宮津市境	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	合計
小型車	349	360	316	367	363	362	347	335	308	320	457	346	4,230
大型車	22	43	36	34	27	29	27	22	13	20	10	13	296
合計	371	403	352	401	390	391	374	357	321	340	467	359	4,526





## 与謝野町の観光指標 (京都府、海の京都DMO調べ)

○観光入込客：459,048人 (平成29年) ※H28:667,707人

⇒平成19年度983,179人 比較▲52万人、▲53%

⇒海の京都圏域平均144万人

周辺市町は・・・

⇒伊根町：301,436人 ※H28：275,903人

⇒宮津市：3,005,400人 ※H28：2,908,700人

⇒京丹後市：2,184,798人 ※H28：2,195,630人

## 与謝野町の観光指標 (京都府、海の京都DMO調べ)

○観光消費額：583,019千円 (平成29年) ※H28:635,025千円  
※一人当たり1,270円 ※H28:951円

⇒平成19年度747,505千円 比較▲164,486千円、▲22%

⇒海の京都圏域平均25,036,224千円 ※一人当たり2,477円

### 周辺市町は・・・

⇒伊根町：1,124,285千円 一人あたり3,730円

※H28:1,105,771千円 一人あたり4,008円

⇒宮津市：9,713,737千円 一人あたり3,232円

※H28:9,396,381千円 一人あたり3,230円

⇒京丹後市：6,442,855千円 一人あたり2,949円

※H28:6,834,010千円 一人あたり3,113円

### 海の京都DMOの分析

与謝野町は豊かな自然と美しい景観、丹後ちりめんなど独自の資源に恵まれているが、京丹後市や宮津市への通過客が多く、丹後地域で観光客が最も少ない現状となっている。このため、丹後観光のイメージを超えた与謝野町独自の観光戦略を展開する必要がある。

# イベントの様子

